

2024 年度 第 1 回 国際ソーシャルワーク協会 学術研究大会

1. 日程・場所

- 日時:11月30日(土) 13時~18時
- 会場:日本女子大学 百年館 201 教室・202 教室・203 教室

2. テーマ

「国際ソーシャルワークの視座」

3. プログラム

13:00-13:05 < 201 >	開会挨拶(5分) 木村 真理子 (会長) 大橋 雅啓 (総合司会)
13:05-14:10 (1時間 05分) < 201 >	大会企画シンポ1 - 海外のソーシャルワークの動向・報告 - 「ソーシャルワークのグローバル・ネットワーク~なぜ国境を越えたネットワークが必要なのか?~」 ◆スリランカ報告 -日本と南アジアの社会福祉政策と現代社会の課題ワークショップ報告- (30分).....小原 眞知子・ヴィラーク・ヴィクトル(オンライン) ◆グローバルネットワークの意義(10分) 木村 真理子(兼モデレーター) ◆ベトナム・カンボジア報告 -子どもと家族のケースマネジメントプロジェクトの進展・ 経過報告(10分)..... 平田 美智子 ◆質疑応答・ディスカッション(15分)
14:15-15:30 (1時間 15分) < 201 >	大会企画シンポ2 - 国内の外国人との共生施策について - 「日本の移民政策の幕開けか?ソーシャルワーカーの役割」 ◆「近年の外国人共生施策および入管法改正における福祉的課題」(20分).....森 恭子(モデレーター)

<p>14:15-15:30 (1時間15分) <201></p>	<p>◆「外国人支援人材養成の展望:外国人支援コーディネーター養成の動きから」(20分)…………… …………… 南野 奈津子</p> <p>◆「外国人住民のワンストップ型の相談窓口(一元的相談窓口)の現状と課題～埼玉県ふじみの国際交流センターの事例を通して」(20分)…………… 神田 歩</p> <p>◆質疑応答・ディスカッション(15分)</p>
<p>10分</p>	<p>休憩・移動</p>
<p>15:40-16:40 1時間 <202> <203></p>	<p>分科会(自由報告) 各20分(発表15分、質疑応答5分)</p> <p><分科会Ⅰ 202> モデレーター: 南野 奈津子</p> <p>① 佐藤 すみれ 「世界の難民らのカウンセリングの経験」 ② 大橋 雅啓(木村、森) 「カナダの移住者・難民へのメンタルヘルスサービス」 ③ 諸井 一郎 「精神保健福祉士に必要な文化的コンピテンスの理解と応用」</p> <hr/> <p><分科会Ⅱ 203> モデレーター: 大島 了</p> <p>① 野田 有紀(神田、方、森和) 「在日ベトナム・カンボジア人へのインタビュー調査報告」 ② 恒吉 藍 「難民・庇護申請者の地域統合プロセスー日本と海外(英語)の文献レビューからの国際社会福祉への示唆」 ③ 松尾 加奈 「ソーシャルワーク専門職教育の萌芽」</p>
<p>16:50-17:00 <201></p>	<p>閉会挨拶(5分) 平田 美智子(副会長)</p>
<p>17:00-18:00 <201></p>	<p>茶話会 司会: 大橋 雅啓</p> <p>◆情報交換・会員同士の交流</p>